

東北アジア最高峰台湾玉山登山（番外編）

第6支部 株式会社ケミカル

石井洋介

10月31日(土)から11月4日(水)までの4泊5日の予定で、台湾玉山(標高3952m)登山が開催されました。

富士山にも登山したことがなく、標高3000m級での参加の誘いに私は、勢いで参加しますとの返事はしたものの心配で同好会幹事に心構え服装等を確認させて戴きましたが解消されないまま出発当日を迎えてしまいました。

今回の企画は、登山組グループ6名と観光組グループ4名との別行動になりました。10月31日(土)成田国際空港に7時30分集合、チャイナエアラインCI107便にて9時30分発の台北桃園国際空港行きに搭乗、そして無事到着、3時間30分の快適なフライトでしたが、飲み放題のビールにはすっかり酔っ払い状態、イエローカード寸前でした。到着後、一路桃園空港から高速バスで台北に向かいそのまま市内観光に向かいました。台北で一番の歴史のある瀧山寺院に参拝、そこには余りにも若い女性が多いのには驚かされましたが、それもそのはず良縁の寺院でした。夜は新生三越での台湾料理で観光組と登山組の別行動の結成式と無事故を祈りパーティを楽しく開催、2次会は各グループ別に行動し、最後に私達グループは締め、なんと丸亀製麺台北店のうどんを食べました。

11月1日(日)、観光組は台湾新幹線にて高雄観光に向かいました。私達登山組は、台北駅バスターミナルにてツアーガイドの熊谷俊之さんの案内で出発です。お天気は快晴、台北駅バスターミナルから高速バスにて南役に向かいました。途中高速道路からの白とオレンジカラーの台湾新幹線が走る勇壮な走りは日本に戻ったかの錯覚を覚えました程、非常に感激です。そして、のんびりとしたローカル線の集集駅に立ち寄りそこでの広場の展示物はなんと年代物の戦車と蒸気機関車にびっくりさせられました。ローカル車輛到着風景などに別れをつけ出発、更に震災で傾いた優美な武昌宮寺院を観光、そしてのどかな水里で台北料理の有名店で昼食しましたがなぜか台湾ビールに飽きたのか日本のビールが恋しくなりました。

すばらしい車窓からの山々を走っているとバスはある道端の記念碑の脇に止まりました。日本軍がここから新高山に向かった新高登山口の記念碑だったのです。夕方、東捕温泉ホテルに到着、まもなくすばらしい彩虹の滝を観光しホテルにもどりますが、なんと女性部屋は問題ありませんが男子部屋は大変なことにベッド2つに4人が宿泊？後は想像にお任せします。

11月2日(月)、いよいよ塔塔加鞍登山口(標高2610m)まで出発、現地山岳ガイド王春景さんと山岳サポーターの田永華さん2人と合流し、排雲荘(標高3402m)約6時間の道程を目指し空は快晴さあ出発、モンロー断崖(標高2838m)前峰登山口(標高2823m)西峰下山屋(標高3090m)大峭壁(標高3173m)を経由し無事通過、全員高山病の心配もなく排雲荘に到着し、夜明けの玉山登山に備え寝袋での二段ベッドにておとなしく睡眠、初めての禁酒の夜を迎えましたが私は全然睡眠出来ませんでした。

11月3日(火)、3時起床、真っ暗な空には流れ星が次々と走る様子に眠気も吹っ飛び感激。準

備万端さあ出発、高所恐怖症の私は先頭の山岳ガイド王さんの後にピッタリ、そして頂上に近付くにつれ天候が怪しくなりますが王さんはゆっくり鎖頼りの岩場を確実に進む、そして夜明け前、玉山主峰(標高 **3952m**)登頂成功です。

はるかに夜明けの兆しが見えこれから太陽がと期待した矢先天気が急変です。霧の中での王さんが一人一人記念写真、そして暖かいホットコーヒーを戴き急ぎ下山準備、そこに途中、仲良しになった別の玉山登山ツアーの大阪の男女のご年配グループも頂上に到着し共に無事登頂、平均年齢 **70** 歳を超えているとのことでした。下山も私は王さんにピッタリ付き岩場の鎖の要所を慎重に排雲荘に向かい無事全員が下山することが出来ました。排雲荘で朝食し、塔塔加鞍登山口(標高 **2610m**)まで下山、そして東捕温泉ホテルに到着し昼食を終えそのままツアーバスで台北に到着、観光組と合流し、評判の海鮮台湾料理屋での待望の本物の生ビールで乾杯することが出来ました。

11月4日(水)、初めての台湾の最終日は、午前中、国立故宮博物館を鑑賞し、観光組と登山組の打ち上げパーティを中華料理小籠包有名店で行いました。観光組は高雄市内観光と台南の旗津フェリーにての観光を満喫し、更に往復路での日本から輸出された台湾新幹線 **700** 系に感激されたとのこと、途中タクシーの車中に財布を忘れましたが親切なタクシードライバーによって無事もどり大変な観光組でしたが楽しかったとのこと。夕方チャイナエアライン **CI106** 便にて定刻通り、成田国際空港に無事到着。

今回の台湾玉山登山に参加して精神的にも肉体的にも良かったです。幹事の皆様ありがとうございました。次は台湾の雪山(標高 **3886m**)に挑戦したいです。

参加登山組 磯部進氏 乾洋介氏 大井泰典氏 原恵子氏 小川裕見子氏 石井洋介
観光組 森山孝治氏 原伸二氏 小川秀一氏 大根田芳宏氏